

食と農への関心・関わり度についてのアンケート結果

本県では、本県農業・水産業の基本的な施策の展開方向を示す「滋賀県農業・水産業基本計画」(計画期間:令和3年度～令和7年度)を策定し、基本理念「県民みんなで創る 滋賀の『食と農』を通じた『幸せ』」の実現に向けて施策を進めています。

このたび、計画の策定や推進に役立てるため、「食と農への関心・関わり度」についてアンケートを実施しました。

★調査時期：令和7年8月

★対象者：県政モニター300人

★回答数：247人(回収率82.3%)

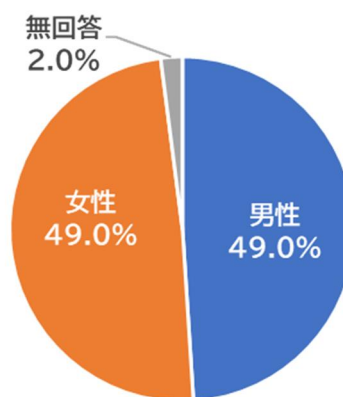
★担当課：農政水産部 農政課

※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

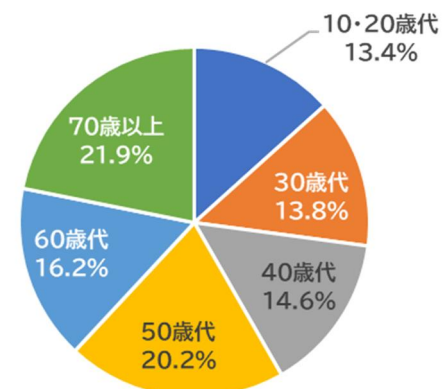
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	121	49.0
女性	121	49.0
無回答	5	2.0
合計	247	100.0



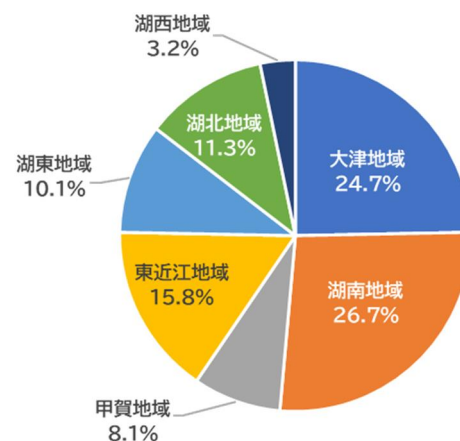
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	33	13.4
30歳代	34	13.8
40歳代	36	14.6
50歳代	50	20.2
60歳代	40	16.2
70歳以上	54	21.9
合計	247	100.0



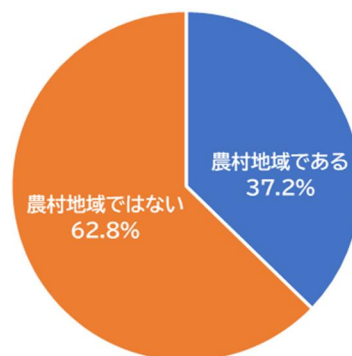
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	61	24.7
湖南地域	66	26.7
甲賀地域	20	8.1
東近江地域	39	15.8
湖東地域	25	10.1
湖北地域	28	11.3
湖西地域	8	3.2
合計	247	100.0



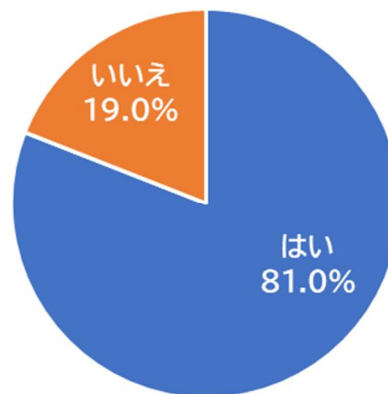
問1 お住まいはご自身から見て農村地域ですか。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
農村地域である	92	37.2
農村地域ではない	155	62.8
合計	247	100.0



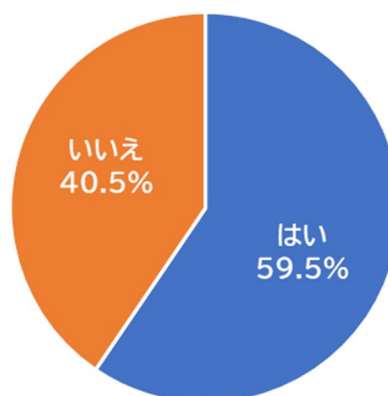
問 2 ご自身が食べる食材について、産地や生産者などを見て、選んで購入することはありますか(ご自身で生産しているものを除く)。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	200	81.0
いいえ	47	19.0
合計	247	100.0



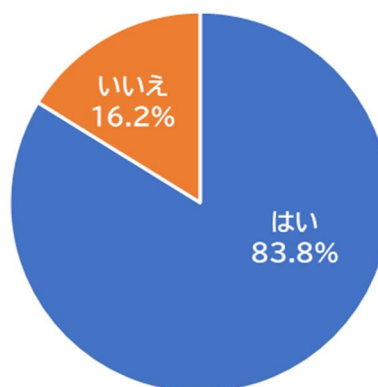
問 3 ここ1週間の食事の中で、滋賀県産の食材や滋賀県産の食材が使われている商品を選んで購入しましたか(ご自身で生産しているものを除く)。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	147	59.5
いいえ	100	40.5
合計	247	100.0



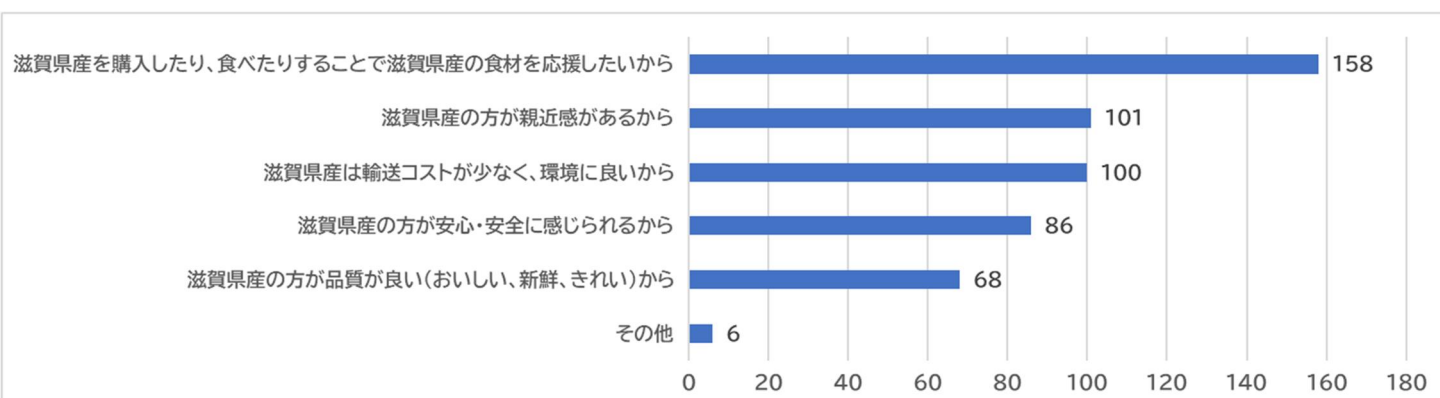
問 4 滋賀県産の食材や、滋賀県産の食材が使われている商品ができる限り買いたい・食べたいと思いますか。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
はい	207	83.8
いいえ	40	16.2
合計	247	100.0



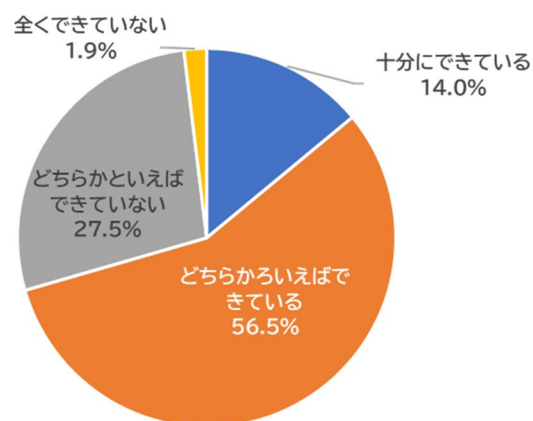
問 5 問4で「はい」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。
(回答チェックはいくつでも n=207)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀県産を購入したり、食べたりすることで滋賀県産の食材を応援したいから	158	76.3
滋賀県産の方が親近感があるから	101	48.8
滋賀県産は輸送コストが少なく、環境に良いから	100	48.3
滋賀県産の方が安心・安全に感じられるから	86	41.5
滋賀県産の方が品質が良い(おいしい、新鮮、きれい)から	68	32.9
その他	6	2.9



問 6 問4で「はい」と回答された方におたずねします。滋賀県産の食材や滋賀県産の食材が使われている商品を、欲しい時に欲しい量を買うまたは食べることができますか。(n=207)

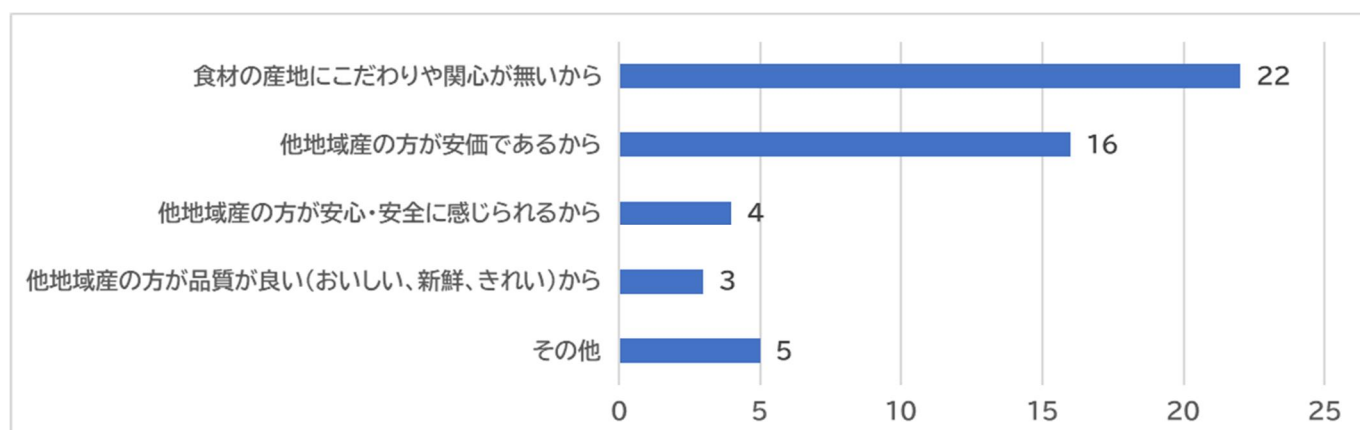
項目	人数(人)	割合(%)
十分にできている	29	14.0
どちらかといえばできている	117	56.5
どちらかといえばできていない	57	27.5
全くできていない	4	1.9
合計	207	100.0



問 7 問4で「いいえ」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。

(回答チェックはいくつでも n=40)

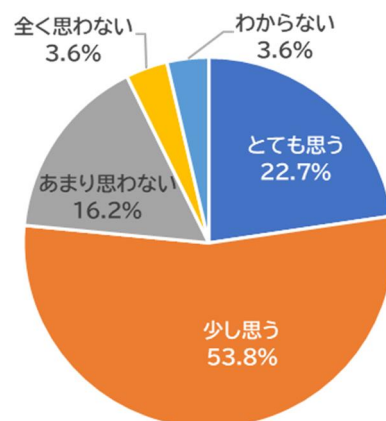
項目	人数(人)	割合(%)
食材の産地にこだわりや関心が無いから	22	55.0
他地域産の方が安価であるから	16	40.0
他地域産の方が安心・安全に感じられるから	4	10.0
他地域産の方が品質が良い(おいしい、新鮮、きれい)から	3	7.5
その他	5	12.5



問 8 滋賀県は農山漁村が身近にあり、農作業や様々な体験、農畜水産物の購入等の多様な場面で農業・水産業との関わりを持つことができます。

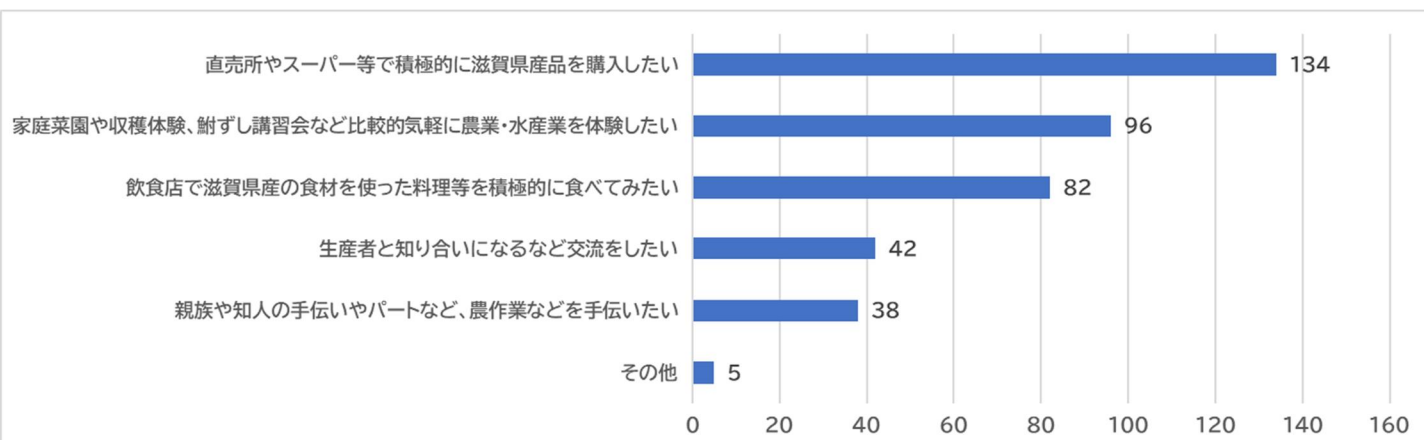
ご自身の生活の中に何らかの方法で滋賀県の農業・水産業と関わりを持ちたいと思いますか。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
とても思う	56	22.7
少し思う	133	53.8
あまり思わない	40	16.2
全く思わない	9	3.6
わからない	9	3.6
合計	247	100.0



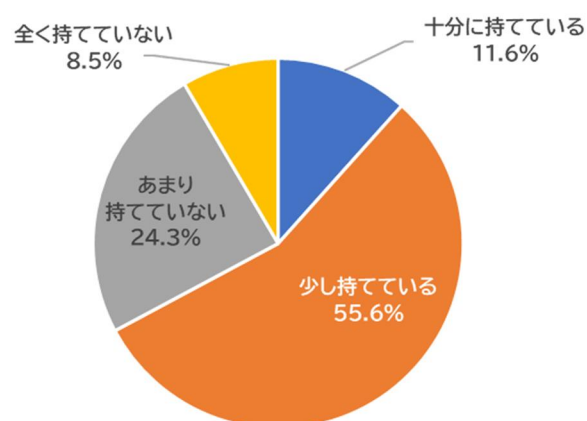
問 9 問8で「とても思う」または「少し思う」と回答された方におたずねします。どのような形で農業・水産業との関わりをもちたいですか。(回答チェックはいくつでも n=189)

項目	人数(人)	割合(%)
直売所やスーパー等で積極的に滋賀県産品を購入したい	134	70.9
家庭菜園や収穫体験、鮎ずし講習会など比較的気軽に農業・水産業を体験したい	96	50.8
飲食店で滋賀県産の食材を使った料理等を積極的に食べてみたい	82	43.4
生産者と知り合いになるなど交流をしたい	42	22.2
親族や知人の手伝いやパートなど、農作業などを手伝いたい	38	20.1
その他	5	2.6



問 10 問8で「とても思う」または「少し思う」と回答された方におたずねします。現在の生活の中で、実際に関わりを持っていますか。(n=189)

項目	人数(人)	割合(%)
十分に持っている	22	11.6
少し持っている	105	55.6
あまり持っていない	46	24.3
全く持っていない	16	8.5
合計	189	100.0



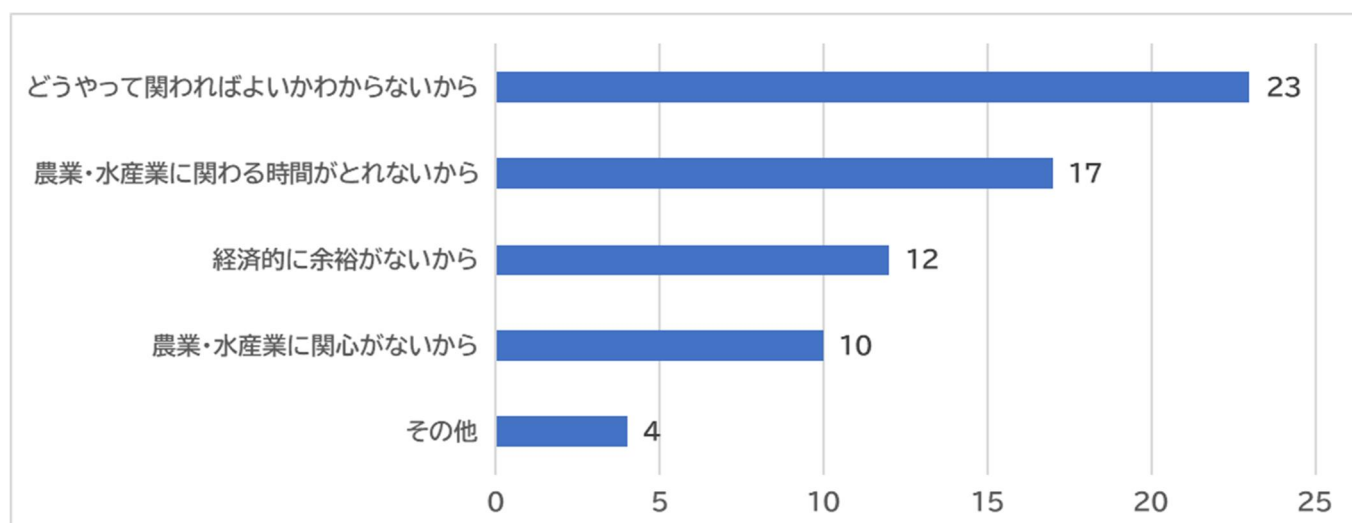
問 11 問 10 で「あまり持っていない」または「全く持っていない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか(抜粋)。

【主な意見】

- 自宅の近くのスーパーマーケットでは滋賀県産の農林水産物を特に宣伝して陳列していない。
- 近隣の方々に兼業農家の方もいらっしゃいますが、農産物について話をしたり、生産物のやり取りを行っていないため、関わりが持てない状況です。また、近隣のスーパーマーケットでも地場産の生産物は種類も数も限られており、選択の幅がないのが現状です。JA のマーケットへ出向くにも距離があり、時間が掛かります。
- つながる、きっかけがないから。積極的に情報をとりにいけば良いのかと思いますが、今は子育ての方が大変です。なかなかその時間がとれません。普段の子育てが大変で、地域とのつながりを持ちたいと思うけど、なかなか時間がとれないという家庭は多いと思います。
- 昨年、他県から引っ越してきたため、農業・水産業に従事されている知り合いがいません。直売所で生産者さんに話しかけるくらいしか接点がありません。
- 移住のため、知り合いがいない。市の広報での沖島体験イベントなどは行きましたが、継続開催するものではないためそれきりになっています。
- 希望はあるが、どこでどのようなことが行われているのかわからない。
- 産地表示が目立たないまたは無い。目立つようにすべき。

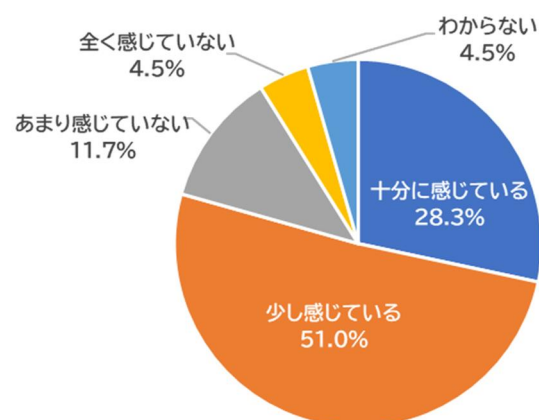
問 12 問8で「あまり思わない」または「全く思わない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。
(回答チェックはいくつでも n=49)

項目	人数(人)	割合(%)
どうやって関わればよいかわからないから	23	46.9
農業・水産業に関わる時間がとれないから	17	34.7
経済的に余裕がないから	12	24.5
農業・水産業に関心がないから	10	20.4
その他	4	8.2



問 13 滋賀の食と農を通じて、農産物を作る楽しさ、食べる楽しさ、田園風景から感じる心の安らぎ等といった「幸せ」を感じていますか。(n=247)

項目	人数(人)	割合(%)
十分に感じている	70	28.3
少し感じている	126	51.0
あまり感じていない	29	11.7
全く感じていない	11	4.5
わからない	11	4.5
合計	247	100.0



問 14 その他、あなたの暮らしの中の「食と農」について御意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

【主な意見】

- 地産地消あるいは、国産を消費したいものの、金銭的な問題で難しい場合がある。
- 道の駅や産直所などで産地のものを買いたいと思うがあまり種類が少なく場所も限られている。もしくは、他のものより高い時が多い。県外の産直所に赴くことも多いのでとても残念に思っている。
- 私にとって県内の畑、湖、牧場などで生産されたものをいただけるのはとても嬉しいことです。滋賀の農業、漁業、畜産業がどんどん盛んになることを応援したいです。まずは食べることから応援します。田んぼや畑、琵琶湖など滋賀の美しい景色は農業などに密接に結び付いていると感じます。その景色がいつまでも見られることを願っています。
- 滋賀に引っ越してきてから農作物が身近に感じられるようになった。こんなに地元産の食材を食べられるのは初めてかもしれない。また昨今の異常気象や米不足で、農家の方はとても頑張っていると思う。滋賀県独自で農家の方バックアップして欲しいと思う。
- 昨今起きた、米が急騰して米不足になった騒動の時に思ったが、できるだけ滋賀県産のお米を適切な価格で買って食べて、滋賀県の米農家との共存を将来的にも、継続してはかりたいと思いました。
- どうしても安さを優先して生活をしてしまいましたが、SNS で「ふるさと納税の近江八幡市の野菜が美味しい！肉以外もおいしかった」などと見ると嬉しいです、自分も選んでみようと思いました。
- 田んぼに水を張った直後の美しい風景、稲穂が育ってきて風になびく風景など、非常に美しく、後世まで残っていてほしい風景だと感じる。
- 食と農は、人間生活の中で大変、大切なものです。草津市や守山市の道の駅で滋賀県産の野菜や米などをよく購入します。そこには安心感があります。値段的にも納得できます。この道の駅の充実がさらに必要だと感じます。今後の人生の中で自分自身、地産地消を心がけていきたいと思います。県民一人ひとりが意識を持って協力していくことが最も求められます。
- 地産地消をしたいが価格面で難しい時がある。産直の販売所が近くにあればうれしい。形が不揃いでも全く気にしないのでそんな野菜などを売って欲しい。
- 滋賀は野菜、果物、お米、水産物など、魅力的なものがたくさんあると思う。なるべく滋賀県産のものを買いたいと思えるような陳列、PR が大切だと思う。購入することで農業、漁業関係者の活気があがるようなしくみも必要である。きちんと利益が出て、後継者育成もできるようになってほしい。最近は農地が減って、宅地になるケースが多い。農地の維持管理は金銭的にも厳しいと聞くと、県や国からの補助をもっと強化して、農地の消失を防ぐことも必要と思う。若い人たちが農業を盛り上げている農場もしばしばある。売り場や飲食店へは、Instagram など活用してうまくお客を呼び込んでいるので、生産、販売、売上がまわるノウハウを共有していくのもいいのではないかなと思う。

- 地産地消の農産物は、輸送費、輸送日数が少なくすみ、可能な限り利用したいと思っている。一方で、親から引き継いだ農地があり、少しは野菜を植えたりしているが正直持て余し気味である。無料で良いので、農地を野菜作りなどで貸し出せる制度やコーディネートしてもらえる制度があると良い。
- 関東から滋賀県に引っ越してきて、豊かな自然や美味しい食べ物に触れていますが、もっと滋賀県産を食べることができたら良いないつも思っています。米原に住んでいますが、たとえば市役所に大きな道の駅のようなものがある(新幹線等で滋賀を訪れる人や車に乗らない人も意識して)と良いないつも思います。多くの人が何気なく訪れる場所で、滋賀県の食べ物が手軽に手に入る仕組みを、もっと積極的に作って欲しいです。
- 日々の生活に追われると、食事の優先度が下がり、心が安らいでいる時は極端に限られ、”食と農を通じて、農産物を作る楽しさ、食べる楽しさ、田園風景から感じる心の安らぎ等といった「幸せ」を感じる機会”はものすごく減ってしまう世の中だなあと感じます。その中でも滋賀県は多様な場面で農業・水産業との関わりを持ちやすいと県民として同意します。どんなに忙しい毎日であっても食を楽しめる余裕を確保できるのが理想です。
- 毎日、食べるもので私たちの体は出来ているので、食に関してこだわるべきなのでしょうが、毎日慌ただしい気がします。ですので、食べることにに関して優先順位がどうしても下がってしまう。自分自身も、ほぼ毎日、レトルトや冷凍食品に頼ってしまい、滋賀県のをちゃんと調理して、食べる時間を大事にする、ということができていないです。
- 京都、大阪などに近いというメリットを生かして、滋賀県産の農産物をもっとアピールして外食産業などで滋賀県産の農産物がつかわれるようにしてほしい。
- 実家は米中心の農家でしたが両親が他界し継ぐ者がいなくなり離農しました。家庭菜園で少し野菜を育てていますが、母が元気なうちにもっと教えてもらっておけばよかったと思っています。教えていただけるような機会があれば参加したいです。
- 田園が広がる地域に住んでいます。田畑は宅地化が進んでいますが、まだまだ緑があります。地域には、産直の店があり、いつでも地域の野菜や苗や米を手に入れることができます。湖東地域は少し車で移動すれば安く新鮮な食材がありますが、南の方は少ないと思います。生産者が少ないかもしれませんが、滋賀の素晴らしい農業が魅力的な仕事となりますようにと願います。
- もう少し気軽に農業に関わってみたい。また、自分で小さく畑や田んぼをやってみたいが農地の借り方や育て方などがわからない。
- 家庭菜園をしているが、やはり気候変動の影響は感じている。滋賀県に限らないが、農業への支援はとても大切だと感じています。
- 妻の実家でお米や野菜を作っているので、いつももらってばかりです。妻の両親も高齢で今はもらってばかりですが、今後はもっと手伝わなければと、思っていますが、なかなか子育てに追われそうもいきません。食と農を守るということを行うため、子育て支援をしていただく必要もあるのかと思います。